

第27回ふくしま駅伝 田村市チーム 5時間13分07秒完走



▲大会終了後、県庁隣の公園で記念撮影。選手、スタッフ、関係者の皆さん、お疲れ様でした

第27回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）が11月15日に開かれ、市町村を代表する選手がしらかわカタールスポートパーク陸上競技場をスタートし、県庁までの95.1kmの区間で健脚を競いました。

今年の大会には53チーム、848選手が出場。田村市チームは、序盤は先頭集団から遅れたものの、タスキを受けた後続の選手が徐々に順位を上げていきました。とりわけ、9区の岡田寿々花選手、12区の村越直希選手、16区の吉田浩一主将が区間2位、13区の前瀬裕太選手が区間3位と好走。若い中・高校生も経験豊富な選手も実力を発揮し、後半は上位をキープして見せ場を作りました。結果は総合、市の部とも6位入賞。昨年の5位より落ちましたが、安定した走りに、来年以降への期待が高まります。

各沿道には、のぼり旗を持った関係者や多くの市民が応援に駆けつけ、熱い声援を送っていました。



▲雨の中でも軽快に走る2区の岸田選手



▲力走する6区の戸澤選手



▲区間2位の快走、9区の岡田選手

安定した走りで、全区間を好走！



▲二本松市街地を走る12区の村越選手



▲応援を受ける13区の前瀬選手



▲下り坂を走る16区の前主将

復興大臣が来訪 復興に向けて連携



11月16日、高木毅 復興大臣と若松謙維 復興副大臣が市役所を訪れ、富塚市長と意見交換をしました。富塚市長は市の復興に関する取り組みを説明し、復興庁のさらなる協力を要請しました。それを受けて高木大臣は、福島県とともに協力すると答え、お互い、復興に向けて連携していくことを改めて確認しました。

大越小 父母と教師の会 社会教育関係功績顕著団体表彰

11月2日に福島県文化センターで開かれた福島県教育・文化関係表彰で、大越小学校父母と教師の会が、子どもの健全育成に大きく貢献した功績が認められ、社会教育関係功績顕著団体表彰を受賞しました。

11月10日、浅理友一会長と遠藤さとみ校長が教育委員会を訪れ、助川教育長に受賞を報告しました。浅理会長は「PTA活動は保護者と教師、地域を結ぶ役割を担っている。子どもたちの健やかな成長のため、これからも頑張りたい」と語りました。



国道288号バイパス 開通を記念してロードアート

国道288号船引バイパス（1工区）が11月25日に開通するのに先立ち、11月18日、船引小6年生約100人が現場を見学しました。福島県中建設事務所 鈴木所長と富塚市長があいさつしたあと、児童は道路の建設について説明を受けました。その後、新しくできた道路にチョークでロードアートを描き、工事を請け負った三和工業(株)と福浜大一建設(株)から児童に記念品が贈られました。

児童は、普段何気なく使っている道路について、改めて興味を持ったようです。

